

キャビアマーケット調査及びキャビア販売戦略構築へ向けた総合分析事業の委託業務仕様書

1 委託業務名

キャビアマーケット調査及びキャビア販売戦略構築へ向けた総合分析事業

2 目的

本県は昭和58年にチョウザメの養殖研究に着手し、30年の研究を経て、昨年度、国産初の本格熟成キャビア（MIYAZAKI CAVIAR 1983）を発売したところである。

初年度の出荷15キロは完売、予約待ちの顧客を抱える等好調な滑り出しとなったが、チョウザメ養殖は産業としては揺籃期にあり、養殖・加工・販売の基本的な考え方とその実現のためのシステムは十分に確立されていない状態にある。

このため現在のキャビアの国内需要動向の把握を行うとともに、キャビアブランドの需要価格帯、販売先毎の需要量及び市場性並びにチョウザメ魚肉の需要等について調査を実施し、本県の今後の主要産業として成長が期待されるチョウザメ（キャビア・魚肉）養殖産業の長期戦略の策定を行うための基礎資料とするものである。

3 委託業務の内容

(1) キャビア及びチョウザメ魚肉の国内市場調査

現在、国内でのキャビア及びチョウザメ魚肉の消費動向について、外食（レストラン）、百貨店、ギフト等の販売チャネルにおける流通量及び販売額などに関するアンケート調査、ヒアリング調査を実施する。

上記調査結果を踏まえ、国内におけるキャビア及びチョウザメ魚肉流通構造に関する分析を行い、キャビア及びチョウザメ魚肉の新市場創出のために必要な施策、新市場創出に関して対応が必要と考えられる課題等を明らかにする。

① 調査対象

キャビア輸入卸業者、キャビア販売店（百貨店、高級スーパー等）、レストラン等

② 調査項目

仕入元・量、出荷先・量、取扱商品及び価格、仕入価格、出荷価格、キャビア及びチョウザメ魚肉の新市場創出のために必要な施策、新市場創出に関して対応が必要と考えられる課題等

(2) 国内市場におけるキャビアブランド動向調査

国内市場における海外ブランド商品あるいは類似商品等について、ブランド名や企業毎の販売戦略などについて調査を行う。

具体的には、実際にキャビアなどを使っている高級レストランやホテル、百貨店等を中心にヒアリング調査を実施し、仕入れ商品情報などについて情報を収集、分析し、実需者毎にキャビアブランド（価値）は何かについて明らかにする。

① 調査対象

キャビア輸入卸業者、キャビア販売店（百貨店、高級スーパー等）、レストラン等

② 調査項目

味、価格、あるいはメディアなど、どのような要素がキャビアの価値・価格・購入動機等について、キャビアブランドの動向を調査する。

(3) 高級レストラン等におけるキャビア及びチョウザメ魚肉の需要動向調査

高級レストラン等に対し、キャビアに関する各種ブランド商品比較調査やチョウザメ魚肉のニーズ調査を行う。具体的には、既存流通商品（国産、海外産）の強みや価格帯等、セールスポイント・こだわり等に関する率直な意見交換を行い、その上で、宮崎産キャビア及びチョウザメ魚肉の可能性や需要、市場拡大のための流通や価格帯、さらには、高級レストランとのコラボレーションによる新たな商品開発や魚肉調理法の開発・周知による需要創出の可能性について調査・分析を行う。

①調査対象

客単価10,000円以上の高級店等を10店舗程度（キャビア・魚肉それぞれとする。但し重複可）を対象とする。

②調査項目

輸入キャビアと本県産キャビアの食べ比べ、調理例などによる市場性や価格等、高級店における商材としてのキャビア及びチョウザメ魚肉の魅力・価値等を明らかにし、今後の販売戦略に資するための具体的な意見交換を実施する。なお、キャビアについては、各店舗1個（20g）、同価格帯の輸入キャビア2種類程度も含め、買取とする。

(4) 総合分析・提案

(1)から(3)で明らかになった調査結果を基に、チョウザメ（キャビア）養殖産業の長期戦略についての方向性を提案する。

4 委託期間

契約締結の日（平成26年10月上旬予定）から平成27年3月31日

5 その他

- 1) 本業務の受託者は、業務を実施するに当たり、委託者と十分な調整を行うこと。
- 2) 本業務を円滑に遂行するため、委託者は受託者に対して業務の進捗状況について方向を定めることができる。
- 3) この仕様書に定める事項について疑義が生じた場合、又はこの仕様書に定めのない事項に関しては、必要に応じて、委託者と受託者が協議のうえ、定めるものとする。
- 4) 実施内容については報告書としてまとめ、業務終了後、県に20部及び電子データで提出すること。

6 支払い方法

業務完了後、成果品の検査に合格した後、精算払いとする。